

総務省の十一月一日現在の推計人口(概算値)によると、国内の総人口に占める七十五歳以上の高齢者の割合が一九五〇年は1・3%だったのに対し、10・0%に達したことが分かりました。

一方、十四歳以下は一九五〇年の35・4%から13・5%まで急激に低下しており、少子高齢化の進行が感じられます。

今後、老人医療費はさらにかさみ、二〇二五年には現在の三十二兆円から五十兆円と1・5倍以上になると言われています。

老人が増えれば医療費も増えるというのが日本の常識ですが、世界的な長寿郷と知られるウイグル自治区のホータンでは、百歳以上の高齢者が元気に

畑仕事や玄孫(やしや)の面倒をみています。日本では、国民皆保険医療で、国際的にも充実した医療が行われ、平均寿命を延ばしたと信じられていますが、医療の浸透



自然医学総合研究所所長

## 大沼 善誉

# 自然治癒を科学する

方などの自然療法を選択することが常識となり効果が出ています。

しかし日本では、局所の病気として患部を切除し、再発時には抗がん剤治療を行うことが常識で、患者ばかりか、保険医療を支えている国民も大変な負担

## がんの盲点 ②

を負っています。

最近では、乳がんの手術法であれば乳房全体を外科的に取り除く「乳房切除術(全摘出)」という方法から、しこりを含む乳腺の一部を切除する「乳房温存手術」へと推移しています。

この変化の背景には、米国のフィッシャーのニューバイオロジ

「説に基づき、縮小手術を施した場合と全摘手術を外科的に取り除く「乳房切除術(全摘出)」という方法から、しこりを含む乳腺の一部を切除する「乳房温存手術」へと推移しています。

ニューバイオロジ説では、「がんは自律性を持って増殖するものではなく、転移の手術と抗がん剤治療を求め二〇〇三年十月から当院に通院し、体質改善を行いました。困りの方は一度ご相談ください。

半年後、浜松で大で異常なしと診断され、四年を経た現在も再発もなく元気で暮らしています。

がんや難病は血液を浄化し疲れを癒すことで回復しています。

化学博士・平成11年度社会文化功労賞受賞・ナチュラルケアセンター(院長)

(毎月、第一木曜日に掲載します)

**予防医学セミナーのお知らせ**

テーマ(1) 午前  
「腸管造血の詳細」  
講師 酒向猛 医学博士

テーマ(2)  
「間違いだらけの保険医療」  
講師 大沼善誉 自然医学総合研究所所長 ナチュラルケアセンター院長 平成11年度社会文化功労賞受賞 生化学博士・名誉医学博士

開催日 12月16日(日) 名古屋 市東区ウィルあいち

時間 10時~16時30分

会費 会員無料、非会員1000円

主催 民間非営利団体 国際自然免疫学会

共催 自然医学総合研究所

申し込み 自然医学総合研究所  
TEL 052・801・7063 まで



上は2003年11月21日の術前の白血球。動きのない不活性型でがんを攻撃できなかったもの。下は浜松医大で異常なしと診断された後で見た、活性化された白血球

半年後、浜松で大で異常なしと診断され、四年を経た現在も再発もなく元気で暮らしています。

がんや難病は血液を浄化し疲れを癒すことで回復しています。

問い合わせ  
電話 052・801・7063  
Eメール yoshinori@nrt.ne.jp  
URL http://www.nrt.ne.jp